

# ドル/円相場のトレード戦略

## ■ 中長期展望

米国大統領選で大方の予測を裏切りトランプ候補が勝利したことで相場の大きな流れが変わったようです。

当初は「トランプ・ショック」で101円20銭までドル安が進んだものの、その後はトランプ次期大統領の掲げる大型減税や財政出動・規制緩和といった政策に対する期待が高まり、米国株は新高値を更新、米長期金利は急上昇し、ドルも全面高となって「トランプ・ラリー」に変化しました。

### 【ドル/円 週足】



11月24日には、今年3月以来となる113円90銭まで上昇し、大統領戦後わずか3週間弱にもかかわらず上昇率は12%を超えるものとなっています。

この上昇により年初から続いてきたドル安・円高は底を売ったことが確認されたといえるでしょう。注目していた長期の趨勢を占う52週移動平均もクリアーに上抜けてきており、当面ドルの下値は限られたものとなりそうです。

ただし、この急激なドルの上昇は積み上がった円ロングポジションの巻き戻しによるものであり、現状の経済実態からは、ここから大きく円ショートポジションを積み上げていく余地はそれほど大きくは残されていないようにも思えます。

「トランプノミクス」に対する期待が米国の長期金利を押し上げている間は、ドルは底堅く推移すると思われますが、本格的なドル上昇トレンドが再開し、120円超えを試しに行く相場となるかどうかは、トランプ大統領就任後の実際の政策発動まで見極める必要があるのかもしれませんが。

# ドル/円相場のトレード戦略

---

## ■ 短期展望

先週は、トランプノミクスに対する期待が一段と強まり、感謝祭休暇で薄商いの中、NY ダウが史上最高値を更新し、米国長期債利回りは急騰、ドル/円も 113 円 90 銭まで上昇する動きとなりました。

今週も、ドルは底堅い動きを続けそうですが、ここ 3 週間の急激な上昇ピッチを維持することは難しくなってくるものと思われます。ここまでのドル/円の上昇は、米大統領選までに積み上がった円ロングポジションの巻き戻しによるところが大きく、ここからさらにドルの上値を追いながら、大きな円ショートポジションを構築していくことは難しいように思われます。ドルが上昇しても 114 円台に乗せる程度にとどまりそうです。

ドルの下値は、買い遅れた向きのドル買い意欲が強いため押し目は限定的と思われませんが、週末には米雇用統計があることから、結果次第では波乱の可能性もあり、一時的に 110 円水準までの下落リスクは見ておきたいところです。